

第360号



# 広報 あくなき

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行  
昭和52年1月10日 鹿児島県阿久根市役所編集発行1部10円

世帯数と人口		(12月1日現在)
世帯数	9,239	(+3)
人口	30,645	(-25)
男	14,261	(-13)
女	16,384	(-12)
( )内は前月比		



## 郵便配達は生涯の仕事

臨本馬場 上鶴利助さん (56歳)

直後の当時は、就職難の時代でしたが、幸運にも郵便配達の仕事がみつかり昭和二十二年九月就職。以来、郵便配達一筋の人生が始まったのです。経済社会の発達につれて、郵便物も年々増加し、配達の仕事も時代の波に押されて自転車から単車に。「郵便配達は私の生涯の仕事です。来年の三十年勤続表彰を助みに、ことしもがんばりたいと思います」と、今日も仕事に精出す上鶴さんです。

「おめでとうございます。年賀状ですよ」と、ひとときわまるい声で年賀状配達に勤む上鶴利助さんの郵便配達員生活も、こととして三十年目を迎えました。兵役に召集され昭和二十一年六月帰郷。終戦

昭和52年

1 月号

郷土に生きる

# 阿久根の夢を語る

## 出席者(敬称略)

阿久根商工会議所副会頭  
**岩崎 国蔵**  
 阿久根農協理事  
**上野 時義**  
 阿久根市生活学級長  
**加藤 ヒサ子**  
 阿久根郵便局長  
**五名 昭夫**  
 阿久根漁協専務  
**濱崎 宗人**  
 阿久根市長  
**坂元 善文**  
 (司会) 市総務課長  
**中尾 泰法**



## 特集 新春放談

左から中尾総務課長・加藤さん・岩崎さん・市長・五名さん・濱崎さん・上野さん

新年おめでとうございます。ことしは積年の夢であり、新しい都市づくりの基盤となる海・鶴見地区の都市計画と、市庁舎建設が実現される年であります。また、産業振興の要となる阿久根新港の水産物流通加工センターと、農業構造改善事業による茶園・畜産団地が完成する年でもあり、新しい阿久根市発展の礎となる重要な年でもあります。そこで新年の初頭にあたり、五人の方に出席していただき、市政の今後の課題と将来の展望について、阿久根の夢をお話していただきました。

### 農業と共立する工場を

### 新しい融資制度の確立

司会 皆さん、明けましておめでとうございます。昨年は不況でございました。ことしは巳年でございまして、ご承知のとおりへビは非常に生命力が旺盛で粘り強い生物だと言われています。私共もへビに負けな

いたくましい生命力でこの不況を乗り切りたいものだと思います。ところで今日は、年の始めでございますので、将来の農業・漁業・商工業などのあり方について、お話しして頂きたいと思います。

まず農業の展望についてお聞かせいただきたいと思いますが、その前に昨年の主な農政について市長さんの方から簡単に――。



ほ場整備が進む茶園団地

つあります。農業関係では農業構造改善事業で、赤瀬川牧内付近を中心に茶園・肉牛・養豚の各団地と、飼料畑の造成を急いでおります。また、瀬之浦地区の七・六号を野菜生産団地とするため、ほ場整備を進めているところです。そのほか長年、冠水に悩まされていた飛松地区のたん水防除事業も着工となりまして、私共も完成を期待しているところでございます。

以上が農政の主な事業でございますが、ことしも一層農業の振興に努力したいと考えています。

司会 ただいま市長さんの方から、大きな農政の事業についてお話がありました。農業経営者として上野さんいかがですか。

上野 いま市長さんの方から話がありましたとおり、本市では着々とほ場整備が進められ、専業農家の育成が図られています。問題は専業農家育成から取り残された農家を、どのように育成するかというところが、将来の農業の大きな課題だと思います。

加藤 最近、つけ物などを賣う家庭が多くなつたようですね。つけ物のほとんどが、よその農産物の加工品のようにございます。阿久根にも農産物は多いわけですから、専業農家を育成するためにも農産物を加工する工場をつくらなければならないか。

上野 市内の農家は、ほとんど複合的な農業経営を行っているわ



新港理め立ても3月には完了

計画も着工となりますので、加工団地の話が

特に新港整備によって、水揚げが増殖して、漁業における港のもつ重要性を、再認識したような次第です。幸い、新港整備も九五完成しておりますので、これからは県外船を誘致し水揚げを多くして、将来は水産加工団地をつくり、加工工業を充実させたらと考えています。

市長 そうですね。ことは、高地区の都市

## 水産加工団地の建設を

### 将来は大島をつなぐ大漁港に

司会 沿岸漁業の新しい拠点となる阿久根新港も、着々と整備されつつありますが、将来の漁業の方向について、浜崎さんひとこと

す漁港の整備が必要であろうと思えます。その点本市では、新港をはじめ佐島・牛之浜の両漁港と黒之浜港の改修などが、進められており感謝いたしております。

市長 確かに現在の

具体化しますと実現できると思っています。岩崎 しかし、新港も小さいですね。沿岸漁業日本一を目指して将来は大島をつなぐらしいの大漁港を建設していただきたいと思えますね。



昨年はイワシの豊漁

型魚礁の投入や稚魚の放流などが必要だろうと考えています。

市長 昨年は黒之浜共同漁業組合の番所沖に並型魚礁を投入しましたが、沿岸漁業の振興を図るには新しい漁場の開発などと共に大型魚礁などを投入して、根付け

をふやすことも必要ですね。また、生産性の高い漁業を推進していくために、公害のない恵まれた自然環境を生かして、とる漁業からつくる漁業への脱皮も考

ね。みかん・きびなども同じようなことが言えます。市長 文旦の一番おいしい時期は、今月末から二月頃なんです。文旦の味の悪い十二月に出荷するというのは、どうなんですか。上野 文旦の一番おいしい二月

けですが、最近、出戻りの出稼者が多い実情です。零細農家の多い本市では、農業だけの生活は考えられませんので、兼業農家のために働く職場を提供するために農業と共立できる工場誘致が必要だと思えます。

司会 資金面はどうですか。上野 経営規模の拡大をするには、資金が必要ですね。そこで将来の融資対策として、お互いに農家が出資したものを財源とした新しい融資制度が必要ですね。玉名 私は昨年、東京から来た

わけですが、東京あたりで売っている文旦は、食べる文旦より見せる文旦になっていきますね。やはり文旦は、食べる文旦でなければ今後、伸びないと思えます。それに食べさせて、文旦の良さを消費者に知ってもらう必要があります

ね。みかん・きびなども同じようなことが言えます。市長 文旦の一番おいしい時期は、今月末から二月頃なんです。文旦の味の悪い十二月に出荷するというのは、どうなんですか。上野 文旦の一番おいしい二月

に出荷した文旦は、十二月の半値ぐらいいんですよ。だから文旦のおいしい十二月に出荷するということになるわけですね。これが流通システムの面白いところだと思えますね。

えていくべきだと思えますね。

岩崎 その意味でも将来は魚礁まで魚礁投し、西日本一の大型魚礁を投入し、西日本一の大型魚礁を設置したら、漁獲量もかなり多くなりますし、漁家の所得向上になると思えますね。

市長 さきほど浜崎さんが言われたとおり、稚魚の放流も大切だと思えますね。それには技術を開発して、アワビ・ウニなどの種苗やカサゴ・タイなどの稚魚を大量に生産できる体制を確立しなければならぬと思えますね。

浜崎 また漁業者は土地を持たないために、二男などの家は建てられないという悩みがあります。これが、後継者育成にも影響しているようですから、どこか海岸でも埋め立てて、若い人にも将来は家が建てられるという夢を与えて頂きたいと思えますね。

市長 そうですね。理め立て地は地価が高くなりますから、都市計画も着工されますし、お互いに協力して、市民会館付近に漁民アパートでも建設するようにしたいものですね。

# 奥地に市街地バイパス建設

## まず商店街の意識革命から

司会 過疎現象の歯止めとして  
も商業は重要な役割を担うわけ  
ですが、そういう意味で岩崎さん  
いかがですか。

岩崎 ご承知のとおり本市の商  
店街は、鉄道に沿う細長い一本道  
の商店街が形成されています。こ  
れは商店独自の街づくりができな  
い大きな要因となっていますし、  
理想的な市街地形成のうえからも  
鹿児島本線を、もう少し奥地に移  
動させたらどうかと考えています  
玉名 私も全く同じ意見なんで  
すが、国道3号線が町の真ん中を  
走っていることについて意外に思  
いましたね。長距離輸送の大型ト  
ラックなど阿久根に用事のない車

が市街地を走っているわけですが  
交通事故と騒音・排気ガスをまき  
散らすだけだと思えます。  
これらの車を市街地から掃出す  
ために、早くバイパスをつくるこ  
とが大切だと思えますね。

市長 ご指摘のとおりだと思  
います。理想的な町づくりのため  
も、市街地の交通量を緩和しな  
ければならないと思えます。そこ  
で西目の大川島から山下・鶴川内・  
多田を経て、野田・高尾野・出水  
に通じる広域基幹農道の新設が計  
画されています。この道路は延長  
約三十四キロ、幅員八メートルの舗装道路  
ですので、奥地の農業開発はも  
ちろんのこと、国道のバイパスと

しても、十分期待できると考えて  
います。この事業は本年度と来年  
度で調査を行い、五十三年度に着  
工される明るい見通しです。

岩崎 昨年は「大和」が進出し  
てきたわけですが、大型店舗を誘  
致した場合は商業圏の拡大をしな  
ければならないと思えます。それ  
には薩摩郡・伊佐郡をつなぐ道路  
の開発促進が必要だと思えます。

## 天草・長島間に架橋を

### 欲しい大水族館と大遊園地

司会 玉名さんは昨年東京から  
来られたわけですが、阿久根の印  
象はどうですか。

玉名 阿久根の方は私たちよ  
者に対して非常に親切にしてく  
ださいますし、人情の厚い土地柄  
のいい所だと思えますね。

ただ町全体としては、何か  
暗い印象を受けますね、何故暗い  
かということを考えてみますと、  
一つにはアーケードが逆に町を暗  
くしているような感じがします。  
むしろ都会では「町を明るくし  
よう」という発想から、アーケー  
ドを取り外す所が多くなっていま  
す。それに緑が少ないということ

玉名 率直に言いますと、阿久  
根は日常雑貨や衣類が非常に高い  
ですね。地元で商店がありながら  
のに頼っているという流通機構の  
なかで、物価がますます高くなる  
という悪循環を繰り返しているの  
ではないかと思えます。最近、地  
方にも大きなスーパーマーケット  
が進出して来ますけれども、商品  
を売らなければ成り立たない日本  
経済のなかで、大型店舗の進出を  
拒むことはできなくなっている  
と思えますね。そういう意味で、商  
店街の方も消費者の意向を十分は  
握る意識革命が必要ですね。

岩崎 阿久根は阿久根温泉とい  
うことで観光宣伝しているわけ  
ですが、湯量が少なく温泉地とし  
て十分な機能を発揮できない実情  
です。ここらあたりで新しい観光開  
発を行うべきだと思おうわけです  
その一方法として、天草と長島を  
つなぐ架橋を建設したらと私は考  
えています。と言いますのは、天  
草五橋を渡って松島に行く観光客  
は二百二十万人、そのうち本渡に

岩崎 阿久根は阿久根温泉とい  
うことで観光宣伝しているわけ  
ですが、湯量が少なく温泉地とし  
て十分な機能を発揮できない実情  
です。ここらあたりで新しい観光開  
発を行うべきだと思おうわけです  
その一方法として、天草と長島を  
つなぐ架橋を建設したらと私は考  
えています。と言いますのは、天  
草五橋を渡って松島に行く観光客  
は二百二十万人、そのうち本渡に

岩崎 阿久根は阿久根温泉とい  
うことで観光宣伝しているわけ  
ですが、湯量が少なく温泉地とし  
て十分な機能を発揮できない実情  
です。ここらあたりで新しい観光開  
発を行うべきだと思おうわけです  
その一方法として、天草と長島を  
つなぐ架橋を建設したらと私は考  
えています。と言いますのは、天  
草五橋を渡って松島に行く観光客  
は二百二十万人、そのうち本渡に

岩崎 阿久根は阿久根温泉とい  
うことで観光宣伝しているわけ  
ですが、湯量が少なく温泉地とし  
て十分な機能を発揮できない実情  
です。ここらあたりで新しい観光開  
発を行うべきだと思おうわけです  
その一方法として、天草と長島を  
つなぐ架橋を建設したらと私は考  
えています。と言いますのは、天  
草五橋を渡って松島に行く観光客  
は二百二十万人、そのうち本渡に



大型店舗「だいわ」が進出

## 市政の主な事業

### (農業関係)

三月 昭和五十年年度の農業構造  
改善事業で山下麦地田に  
文旦選果場完成。

八月 第二次農業構造改善事業  
で赤瀬川牧内地区を中心  
に基園団地の造成始まる

十月 牧内に畜産(肉牛)団地  
の造成始まる。また同地  
区に緊急粗飼料増産対策  
として飼料畑造成着工。

十二月 瀬之浦地区で野菜生産団  
地のは場整備始まる。

(水産関係)

九月 昭和五十一年度建設計画  
の阿久根新港卸売場着工

十月 新港の倉庫建設着工。

十一月 新港の駐車場建設着工。

十二月 編本番所沖に並型魚礁  
投入。牛之浜漁船漁具保  
全倉庫着工。

(建設関係)

十一月 長野山下線・奥田平線・  
小瀬海岸線・穴迫線・柏  
原線・白鶴線・大下小川  
内線・瀬之浦大瀬線・上  
野ヶ丘線・打線線・大尾  
牧内線・深田線の十二線  
道路舗装工事を完了。

十二月 平支線・大曲村中線の二  
線の道路舗装工事を完了。  
本橋の架け換え工事を完了。

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

(道路維持関係)

流れ込む観光客は五十万人と言われている。もし天草と長島間に架橋があれば、本渡に流れ込む観光客の半分ぐらいは誘致できるのではないかと思います。

**市長** 天草・長島間の架橋建設は、是非実現させたいですね。現在、天草・長島をはじめ私たちが関係市町村が中心になって、架橋建設の準備を行っているところで、これが完成しますと、観光客の誘致はもちろんのこと、産業経済の発展にも大きな期待が持てると思います。幸い備田官房長官が天草出身ですので、早期に実現できるのではないかと明るい見通しをもっていきます。

**玉名** 阿久根温泉は塩湯だということですが、塩分を含んでいる温泉でも、ある程度塩分をとるということは科学的にできるはずで、現実には熱海温泉あたりでは脱塩装置をしていますし、阿久根の温泉も塩湯でないというイメージチェンジを行うべきですね。

それに風光明媚な所に家族向けの温泉センターやレジャーセンターをつくったらどうでしょうか。

**加藤** 鹿児島市の平川動物園や宮崎県のサファリーパークのように、これからの観光開発は斬新なスケールの大きなものでなければならぬと思いますね。

九州一の水族館や大遊園地をつくらうたら私は考えています。

**玉名** 大遊園地は見晴らしのいい所につくった方がいいですね。と言いますのは天草から長島を通じて、臨本から阿久根大島・川内までのすばらしい景観というものは、よそから来た人に強い感動を与えるとは思いますが。天然から与えられたすばらしい風光というものを、もう少し見直していただきたいと思うわけです。

さきほど天草に橋をかける話がありましたが、是非実現させていただきたいと思えますし、また、このすばらしい景観を平面的に見せるだけではなく、見晴らしのいい所に大遊園地などと絡み合

## 都市計画と市庁舎建設を実現

### 鶴川内中校舎も改築

**司会** 今日は新春にふさわしい大きな夢や楽しい夢を語っていただいたわけですが、最後に市長さんの方から、ことしの市政に望む抱負をひとことし。

**市長** ことしは長年の懸案でありました都市計画が、三か年計画約三億円、いよいよ着工となる年でありました。また老朽化した市庁舎も、約九億円、ことしの夏には着工したいと考えております。

わけて展望台をつくり立体的に見せる工夫があれば、阿久根の観光ももっと認識されるのではないかと思います。

**岩崎** 懸案の長崎県野母崎とのフェリー就航も、不況の影響もあって実現しにくい状況にあるようですが、この航路が開発されれば、九州西海岸観光ルートとして阿久根温泉も見直されると思えますし、産業経済の発展のためにも早期実現を願いたいですね。



市庁舎建設も夏には着工

をいたしましたが、そのために市の行政に支障を与えてはならないと思えます。従って市政の大きな柱であります農林水産業・商工業の振興はもちろんのこと、教育や福祉行政などにも、従来どおり一層力を注いでまいりたいと考えています。

特に市民の皆さん方から要望の多い道路整備は、昨年は苦しい財政の中から、かつてない約二億円の補正事業を行ってまいりました。が、ことしも前年に引続き、積極

的に道路整備を促進したいと考えております。

また鶴川内地区の水田約五十畝を農業構造改善事業では整備し施設園芸などを促進するよう具体的な計画を練りたいと考えています。そのほか畜産の振興を図るために、ことしは臨本地区に飼料畑を造成したり、野菜生産安定対策としまして、西目の伊部産地をエントウの主産地にしたいと考えています。学校関係では鶴川内中の校舎改築を約七千万円で、健全な教育環境づくりを促進したいと思えます。ことしも「明るく、希望のもてる、豊かな郷土」づくりのために、最善の努力をいたしたいと思えます。

月	事業内容
六月	黒之浜川河川災害復旧工事完成。
七月	黒之瀬戸海岸・中央線・松岡線の各災害復旧工事完成。
九月	波留線・波留大曲線・丸尾線・戸柱神社線・佐賀鼻線・牟礼線の各補装工事完成。
十一月	尾城線災害復旧工事完成。
十二月	稲牟礼線・下村線・折多旧中央線・高松線の各補装工事完成。
五月	羽田地区(水路)県単土地改良事業完成。太郎原線(水路)災害復旧工事完成。
七月	上鶴線・上越線の各水路災害復旧工事完成。
八月	折口原線(水路)災害復旧工事完成。尻無地区県単土地改良事業完成。
十月	紫尾林道災害復旧工事完成。湯田頭地区県単土地改良事業着工。県管長谷瀬池整備事業着工。
十二月	飛松地区たん水防除事業着工。多田地区過疎基幹農道整備事業着工。立石地区団体営農道補装工事着工。前川原線災害復旧工事完成。
一月	大川中校舎改築完成。
六月	阿久根中校舎改築完成。

(学校関係)

### 竹材の販売ルート開拓を

## 竹林で知事と語る会

# 市有林造林班



熱心に意見を聞く金丸知事と市長

林業経営のあり方を研究する県林業技術研修会が、十二月八日から九日まで、本市を中心に開催されました。

会には県内各地の竹林振興会などの代表者約百二十人が出席。初日は出水郡内の各地で、青林・青苗・竹林・青年の山の四分科会を行い、現地研修したあと国民宿舎「あくね」で情報交換しました。

二日目は弓木野のタケノコ専用林で知事と語る会を行い、本市から坂元市長も出席し、歓迎のあいさつを述べると共に「本市の竹林面積は三百四十町ある。本年度までに五十町の竹林改良を計画しており、山村の収入源として竹林を見直し、県の協力を得て改良を促進したい」と竹林改良の重要性を訴えました。

これらのあと各林業グループの活動状況報告があり、このなかで本市の弓木野竹林振興会長の餅越義藏さんは、タケノコ出荷の現況を発表し、労働力が今後の課題だと当面する問題などについて発表しました。

また各地区からは①タケノコの出荷を促進するため伐竹するが、竹材の販売ルート開拓に努力して欲しい②タケノコ生産グループは年寄りが多く、搬出に苦労しているので、モノレール導入に助成して欲しい③シイタケ生産の原木であるクヌギが不足している。クヌギ原木に替る国有林の広葉樹の払い下げをあっせんして欲しい④作業道の拡充をして欲しいなどを知事に要望しました。

これに対して金丸知事は「竹材

通産省は、毎年十二月三十一日現在で、工業統計調査を実施しています。この調査は、製造業に属する事業所の実態を調査し、各種工業統計調査に協力をお願いします。調査は、一月中旬頃、調査員が事業所を訪問し、調査票の記入をお願いします。なお、工業実態基本調査と集約流通統計調査も同時に実施されます。

### 一般会計 約九千二百万円を追加

## 第四回定例市議会終わる

第四回定例市議会は、十一月三十日から十二月二十三日まで、二十四日間の日程で開かれ、議定二件、議案十五件を審議し、それぞれ原案どおり可決しました。

認定二件は、昭和五十年年度何久根市歳入歳出決算の認定と、都市計画法の改正に伴い、大丸町久根港線など市道四路線を名称変更するための認定でした。

議案十五件は、一般職に属する職員給与に関する条例の一部を改正する条例や、一般会計・特別会計の補正予算などでした。

このなかで、一般会計に九千二百三十三万九千円を追加し、総額三十八億二千二百四十四千円の前算としました。

補正予算のおもなものは、専売公社跡地購入代金、老人医療費不足分、斎場団地造成事業補助金増加分などの追加をはじめ、大丸町街路灯設置や上野部落公民館建設などに対する補助金と、本年七月の台風災害による道路などの復旧事業として、飛松・落線など八線の災害復旧事業費などを、追加したものです。

### おめでた

- 出生児 保護者 区名
- 松崎 京子 法蔵(宮原)
  - 伊 友和 幸治(伊)
  - 肥後 保宏 いく子(牧内)
  - 永田 吉典 良文(中村)
  - 田上 慶子 三十志(上野)
  - 大尾 美和 義隆(大尾)
  - 吉野 美和 貞人(湯矢)
  - 坂下 龍二 鉄啓(折口東)
  - 巻木 正明 悦子(大丸)
  - 濱崎 寿代 敬和(浜)
  - 御手洗洋一 和雄(上野)
  - 潮切 ますみ 幸治(大尾)
  - 神之田友幸 敏一(中仁田)
  - 京田 和子 賢吾(上原)
  - 福浦 さち 一雄(黒之浜)
  - 宮原 博巳 正盛(下村)
  - 梶尾 大輝 輝美(黒之浜)

### 海員学校生を募集

国立門司海員学校では、左記の要領で生徒募集しています。

▽募集人員

高 等 科 約百名

本科司ちゅう科 約六十名

▽受験資格

中学校卒業以上の人で昭和五十二年四月一日で十五歳以上十九歳未満の人。ただし五十二年三月中旬学校卒業予定者を含みます。

▽願書締切り 二月五日まで。

詳しくは北九州市門司区白野町の同校にお問い合わせください。

# 農産物などを即売 産業祭にぎわう

市内の農林水産物や農工業製品を展示即売する産業祭が、十二月十八・十九の両日、市民会館で開かれ、会場は約三千五百人の人出でにぎわいました。

大ホールでは野菜・大根・花・茶・さとうきびなどの農産物や丸干し・きびなど・うになどの水産加工品などを、市価の二・三割引まで展示即売し、正月が間近かとあって、会場は正月用品を買い入れる主婦らで盛況でした。



子供たちに好評の竹馬づくり

誘致企業展示コーナーでは、虎印スポーツ工業・細井製作所・鹿

相續 妻の火の不始末で、借家と隣家を焼失しました。妻の過失が軽微な場合の損害賠償義務はどうなりますか。

## 人権相談シリーズ ⑤

借家に対する損害賠償義務は重大な過失がない場合「失火の責任に関する法律」により、責任を免れます。ただし、借家については、

児島製靴・中織ニットなどが、それぞれ自社製品を展示しました。

なかでも中織ニットの下着類は市価の半値とあって、センチタの家主との契約関係から生じる債務不履行による責任が問われます。この場合「失火の責任に関する法律」は適用されませんの

で、重大な過失がなくても、責任を負うことになりまます。従って、過失の大小にかかわらず、借家の場合には賠償しなければなりません。

ハムなど肉製品と共に、主婦らに好評のようでした。

生活工夫展では生活改善グループが「ふるさと一味」を思わせる手作りの漬物類を展示即売する一方、漬物類のつけ方を指導、生活改善の必要性を訴えていました。

このほか竹馬や竹トンボ・竹細工などの作り方を教える実演コーナーも設けられ、子供たちはナイフやノコギリを手に、手作りの竹馬や竹トンボを楽しんでいました。

市民会館前広場では、緑化樹・

花木展・農業機械展も行われ、庭木や耕運機などが展示されました

第一会議室では文旦・甘夏・ミカンの品評会もあり、四百三十八戸の農家が出品。この中で川崎義任さん(尾崎)の文旦と、真鍋淳さん(浦)の甘夏、奥園義雄さん(内田)のミカンが、それぞれ特等に選ばれました。

ことしの産業祭では安くても品質の落ちるものは買いたくないと、自ら立ち、消費者の感覚が変りつつあることを示していました。

## 番所鼻沖に並型魚礁

### いせえびの繁殖がねらい

漁場造成を認る並型魚礁が、

十二月十日(金)黒之浜共同漁業権内の番所鼻沖に投入され、漁獲量の増大が期待されています



船積みされる魚礁

これは、昭和

五十一年度の沿岸漁業構造改善事業として実施されたもので、いせえびや鯛魚など魚貝類の生息に適し、本年度は二百三十二個投入されました。

並型魚礁の投入は、昭和三十七年から行われ、これまでに三千三百九十二個が大島近海などに投入されています。また、大島付近の

六箇所には、築いそ事業が行われたい・あじ・いせえびなどの宝庫となっています。

特に本年度の並型魚礁は、いせえびの繁殖をねらいにしたものでこの投入により、年間約三百艘の増収が見込まれており、沿岸漁業の漁場が拡大されると、黒之浜漁協の人たちに期待されています。

## おくやみ

- |                 |                   |                   |                   |                  |                   |                    |                     |                  |                   |                   |                    |                 |                  |                   |                   |                  |                  |                  |                  |                    |                   |                    |                  |                   |                   |                   |                    |                  |                 |                    |                  |
|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|--------------------|---------------------|------------------|-------------------|-------------------|--------------------|-----------------|------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------------------|-------------------|--------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|------------------|-----------------|--------------------|------------------|
| 塩屋 鴨子 40 (段) 次男 | 東園 傳吉 79 (高之口) ムノ | 尾上 宗次郎 80 (飛松) ミロ | 園田 常吉 74 (大丸) スイノ | 中村 ミキ 75 (上野) 政光 | 松本 ヲキ 80 (永田下) 吉助 | 神之田仁平 86 (仲仁田) コナミ | 尻無濱 スミエ 56 (尻無下) 末蔵 | 白石 純造 90 (本町) 十郎 | 平田 道則 70 (橋手) ミノル | 日笠山ひろみ 15 (大尾) 和人 | 下園 太平次 86 (尻無下) キノ | 新坂上マン 86 (中村) 章 | 中村 豊二 72 (敦内) ルイ | 寺脇庄右衛門 83 (内田) ツル | 堀切 フミ 75 (永田下) 明子 | 鬼塚 タカエ 64 (樺) 正男 | 柿元 清蔵 80 (佐海) 曾野 | 石坂 スエ 89 (波留) 莊喜 | 児玉 チホ 70 (上桑) 時治 | 瀬川 武彦 60 (浜町) 上野實夫 | 鳥飼 フミ 67 (永田下) 正一 | 仁禮新左衛門 92 (黒之上) 近衛 | 大津 末美 77 (大徳) 四男 | 外戸口康雄 55 (瀬之下) 清俊 | 大津 ヤエ 79 (大徳) 千美恵 | 水原 康雄 56 (古里) キヨミ | 早水 章子 19 (黒之上) 東洋治 | 恒古 恒市 87 (大谷) 正則 | 山田 寿子 0 (古里) 善一 | 松本フサギク 83 (協馬場) 利助 | 下石 勇助 71 (桐野上) 昇 |
|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|--------------------|---------------------|------------------|-------------------|-------------------|--------------------|-----------------|------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------------------|-------------------|--------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|------------------|-----------------|--------------------|------------------|

# 大川島にバス待合所

## 老人クラブが環境づくり



待合所をつくるお年寄りたち

# ひろば

この欄は市民のみなさんのページです。話題や市政に対する意見などがありましたら市総務課秘書広報係までお知らせください。

老人クラブ活動で住みよい生活環境づくりをと、このほど大川島老人クラブがバス停に待合所をつくり、風雨のバス待ちに悩まされていた地区民に喜ばれています。これまで大川島バス停には待合所がなく、雨の日の地区民は国道沿いの商店などでバス待ちしていましたが、定刻になってバスが近づくと、交通量が多くなって横断できないこともあり、地区民の悩みとなっていました。

そこで同クラブは、活動資金で待合所を建てることを決めました。が、建設には八万五千円が必要で、資金がたりず、部落に相談したところ二万円を補助すること。幸い市社会福祉協議会から三万円と、バス会社から一万円の補助があり、会員の奉仕作業でこのほど完成したものです。同クラブは、毎月定例会を開き会員の親睦と教養の向上に努める一方、地域に奉仕する活動を進めています。ことしのお盆には、会員で咲かせたケイトウやマリンゴールドなどの花を、全戸に無料配付したり海水浴場や側溝などの清掃作業をし、地区民に親しまれています。

## イチゴ出荷の最盛期

イチゴの特産地を目指す山波地区では、38戸の農家が約6haにイチゴを栽培し昨年11月18日から東京大阪方面に出荷を始め、現在最盛期を迎えています。ことしは約3千万円の売上げが見込まれており、農家はハウスでのパック詰を急いでいます。



## 楠之本橋が完成

鶴川内橋と宮原を結ぶ楠之本橋の架け換え工事が完成し、十二月二十一日、坂元市長・二宮出水土木事務所長ら関係者約五十人が集まり、田上十吉さんから親子三代を先頭に渡りやめが行われました。新しい橋は、約二千二百万円の事業として二年がかりで完成し、延長四十三・二尺、幅員六・二尺の立派な橋です。



# 在宅医さん

一月十五日

山田病院 ③0836 (本町)

内山病院 ②0018 (高松)

黒木医院 ⑥0200 (下村)

一月十六日

阿久根内科 ②0578 (新町)

田中外科 ③0553 (大丸)

石原医院 ⑤0045 (橋之東)

一月二十三日

上園医院 ③0798 (本町)

中村病院 ②0015 (大丸)

濱之上医院 ⑤2600 (駒馬場)

一月三十日

北国医院 ②0016 (本町)

喜多医院 ②0038 (大丸)

平 医院 ⑤2626 (古里)

## 今月から市民税申告受付

ことしも一月二十日から二月十九日まで、市民税の申告を受け付けることになりました。

申告をお忘れになりますと、扶養控除や生命保険料などの特典が受けられなくなりますので、申告は早目に済ませてください。

もしどうしてもその日に申告できない方は、三月十五日までに市役所税務課で申告してください。

なお申告には、家族の氏名・生年月日・証明書・領収証・源泉徴収票などのほか、印鑑が必要となっておりますのでお忘れなくご持参ください。



独居老人に羽織下を寄贈

大丸区 1年がかりの内職奉仕  
梅木さん



身寄りのいないお年寄りに、せめて温かい正月をと港町の梅木美佐子さんは、1年がかりでせっせと編物に励み、このほど市社会福祉協議会に、羽織下40着分を寄贈されました。市社会福祉協議会では、梅木さんの心温まる善意を快く受け、年の瀬の近づいた12月24日（金）市内の1人暮らし老人40人に、歳末たすけあい募金と一緒にお届けし思わぬお歳暮と、お年寄りたちに喜ばれていました。

市内に40人近い1人暮らしのお年寄りがいることを知った梅木さんは、生前父が「冬は羽織下を着ると温かくなる」と喜ばれているのを思い出し、チャンチャンコ（羽織下）をプレゼントしようと決意。食肉センターの検査技士であるご主人の貫干郎さんを送り出し余暇を利用しての編物。

羽織下を編む手に、寂しい毎日を送っている1人暮らし老人と、父親の温かい笑顔を思い浮かべながら、根気強く内職奉仕。

とうとう12月中旬、目標の40着に達し、ダンボール箱一杯の羽織下を寄贈されたものです。

梅木さんは一昨年4月、鹿屋市から転入。「子供たちにも声をかけてくださいますし、近所の方をはじめ、阿久根の方は人情深い人が多いですね」と、控え目に話される梅木さんです。

わたしの提言⑨



大丸区  
児玉光彦さん

コース別の観光案内図を

国道沿いで商売をしている私は、県外からのお客様に阿久根の観光について尋ねられることがしばしばあります。考えてみますと市の各入口には「観光阿久根」の標識はありますが、観光地の案内図がないように思います。

日本三大急流のひとつ黒之瀬戸と大橋・阿久根大島・阿久根温泉・それに自然に恵まれた美しい海岸線などが、観光コース別の観光案内図を作製していただいたら、私たち市民ももっと具体的に観光案内ができると思います。

年間を通じて観光利用できる温泉にしても、今ひとつ宣伝不足のように思います。折角の温泉ですので、温泉を利用して「阿久根に来て良かった」と喜ばれる観光地にしたいものです。

それには新しい観光開発も必要でしょうし、観光客を温かく迎える市民一人一人の心掛けも大切だと思います。

伝統の味を守る黒糖

昔ながらの製法による黒糖は、伝統の味を守りながら阿久根名産として北九州や熊本方面に出荷されています。終戦後、市内に38件もあった製糖工場も、現在では瀬之浦下の工場だけとなりました。ことしは133戸の農家が、約3.6haにキビを栽培。台風の影響で約4割の減収、37tの黒糖生産が見込まれています。



社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。

香典返し寄付（敬称略）

松永敏丸（牛之尻） 神之田栄一（仲仁田） 白石十郎（本町）

堂山光夫（浦） 久木野弘二（川内市） 富吉五市（佐刺） 橋口

英之助（山下馬場） 児玉スガノ（上巻） 浜崎徹（浜町） 鶴岡

敦弘（尻無下）

還付申告は早目に

所得税の確定申告と納税は、二月十六日から三月十五日までです。サラリーマンの方など確定申告をしなくてもよい方でも、災害を受けたら、多額の医療費を支払った方などは、確定申告書を提出すれば雑損控除や医療費控除をすることによって、税金が返ってくる場合があります。

この還付を受けるための確定申告は、二月十六日より前でも受け付けています。早く申告しますと税金の還付も早く受けられます。早めに済ませてください。

無料入権相談所を開設

一月二十八日（金）午前十時から正午まで永田下公民館で、同日午後一時三十分から午後四時まで飛松公民館で開設。入権問題でお困りの方は遠慮なくどうぞ。

# わが町の福祉 ①

## 身障者の自動車税免除

乗車券を割引き 2種の身体障害者の人が、バスや電車（片道100km以上）を利用する場合半額の割引き証が交付されます。1種の人には、キロ数に関係なく付添いの人も半額の割引き証が交付されます。

NHK放送受信料が半額に 視聴覚障害や重度（1～2級）の肢体不自由障害者が世帯主であるときは半額を免除されます。

補装具を交付 障害の程度や種類によって、盲人安全杖・歩行補助杖・松葉杖・義眼・義手（義足・車イス・革靴などを交付します）。

重度身障者に日常生活用具を給付 在宅の重度身障者（1～2級）で下肢または体幹不自由者に、浴そう・湯沸器・便器などが給付され、特殊寝台を貸与します。

自動車税の免税 下記に該当する身体障害者の自動車税は免税となります。また、下記のみで下肢不自由の3級の2から6級までを除いた障害者と、体幹不自由の5級を除いた障害者の通院や生業のため、生計を同一にする人が運転する自動車税も免税となります。

視覚障害の1級から3級までの各級及び4級の1、聴覚障害の2級及び3級、平衡機能障害の3級、上肢不自由の1級2級の1及び2級の2、下肢不自由の1級から6級までの各級、体幹不自由の1級から3級までの各級及び5級、心臓機能障害の1級及び3級、呼吸器機能障害の1級及び3級

冠水に悩む飛松地区のたん水防除事業の起工式は、十二月十八日西目郵便局南側の現地で、坂元市長をはじめ中馬・村山・有馬・井上各代議士など地元関係者ら約百人が出席して行われました。

# 水田など冠水解消に

## 松地区 たん水防除事業着工



起工式には4人の代議士も出席

国道3号線から鉄道線路を隔てた同地区の東側一帯には、上床山麓の落・折など三百二分の排水が川幅の狭い飛松川に流れ込み、台風や梅雨時期には冠水地帯となり、住家や水田などの農作物に被害を

市教育委員会では、昭和五十二年度の奨学生を、二月一日から二月二十八日まで募集します。申込み資格は、本市に三年以上在住する人の子弟で、高等学校・

ただし、日本育英会や興育英資金などを受ける人は応募できないことになっています。奨学金を受けたい方は期日までに、市教育委員会にお申込みください。なお、奨学金の貸与額などは次のようになっています。

- 奨学金の貸与額（月額）
- 高 校 三千円
- 国立高専 四千元
- 大 学 六千元
- 奨学金の返還方法
- 卒業後一年目から十年以内

提出書類 奨学生願書・学校長の奨 推薦調書・健康診断書

## 奨学生を募集

### 申込みは二月末日まで

与えていました。そこで県は一億九千二百万円です。たん水防除事業を行うことにし、市も約二千八百万円を負担し本年度から三年計画で、冠水対策に踏み切ったものです。工事は西目郵便局南側から国道下を経て大川島海岸までタテ一・八財、ヨコ二・三財の偏平馬蹄形トンネルを三百六財通し、七十一財の排水路に接続する計画です。

これに伴い、飛松川上流二百九十四財も改修し、排水能力を強化することになっています。このたん水防除事業は、五十四年三月完成の予定ですが、完成しますと、集中豪雨などで床上浸水や床下浸水などに悩まされていた住宅はもとより、水田など四十一財の農作物も冠水から免れることになり、地元民は着工を喜んでいきます。

## 二十歳になったら 国民年金に加入を

わが国では二十歳になると多くの権利が行使できるようになっていますが、同時にいろいろな義務も果たさなければなりません。その一つに年金制度への加入があります。年金制度は、加入者全員で掛金を積み立て、年をとったり、けがをしたり、一家の主人が死亡したりしたとき、そのお金で本人や家族の生活を保障しようとする制度です。

この年金制度には、国民年金制度と、厚生年金などの被用者年金制度がありますが、日本国民は必ずいずれかの年金制度に加入しなければなりません。二十歳になって、まだどの年金にも加入していない人は、市役所国民年金係で加入の手続きをしてください。国民年金制度の内容や加入手続きは次のとおりです。

- ▽加入しなればならない人
- 二十歳から五十九歳までの人で厚生年金などの被用者年金制度の加入者とその配偶者・経理部の大學生を除いたすべての人。
- ▽保険料
- 一月当たり千四百円（五十二年四月分から二千二百円）
- ▽給付の種類
- 障害年金・母子年金・遺児年金
- 老齢年金などがあります。給付額は生活水準や物価の変動によって年々改定されます。